



むらづくり課
平成27年11月19日

阿蘇地域世界農業遺産のミラノ万博出展内容 及び関連事業について

1 目的

イタリア・ミラノで5月1日から10月末まで開催されている「ミラノ国際博覧会」へ、10月16日～21日の6日間、国内の世界農業遺産認定5地域と連携して出展し、世界農業遺産（GIAHS）の価値と、阿蘇や本県の魅力を世界に向けて発信する。

併せて、ミラノ・熊本交流会を開催し、ミラノ万博出展をきっかけとした欧米における熊本経済界展開の足掛かりを確保する。

2 ミラノ万博における5地域広域連携推進会議の出展概要

(1) イベント名：ディスカバー ^{ジァス}GIAHS ～日本が誇る農業遺産～

(2) 期 間：平成27年10月16日（金）～21日（水）

※10月19日（月）は「熊本県の日」としてイベント開催

(3) 出展場所：日本館2階イベント広場

(4) 出展者名：石川県／静岡県／熊本県／大分県／新潟県（世界農業遺産広域連携推進会議）

(5) 内 容：世界農業遺産の認定主旨説明と国内認定5地域が日替で出展

①世界農業遺産広域連携推進会議としてのイベント及び展示・試食等

- ・イベント広場については、各県日替わりで開催
- ・イベント外の時間はGIAHS共通PR映像（各県のGIAHS映像）を放映
- ・5地域の世界農業遺産等パネル展示及び5地域の地酒試飲を6日間実施

※（万博期間中は県産畳のベンチ18脚設置済み）

GIAHSとは、Globally Important Agricultural Heritage Systems
世界農業遺産に認定された5地域

- ・トキと共生する郷づくり（新潟県佐渡市）
- ・能登の里山・里海（石川県能登地域）
- ・静岡の茶草場農法（静岡県掛川市他）
- ・阿蘇の草原の維持と持続的農業（熊本県阿蘇地域）
- ・クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環（大分県国東半島・宇佐地域）

イベント広場



展示・試飲コーナー



5地域の世界農業遺産等パネル展示



②オープニングイベント（10月16日）

歓迎アトラクション（石川県「御陣乗太鼓」、主催者挨拶（石川県知事）、来賓祝辞（在ミラノ総領事）等に引き続き、5地域の代表者等による鏡割りが行われた。
 本県からは、阿蘇地域世界農業遺産推進協会 原山会長（JA阿蘇組合長）が参加。



③「熊本県の日」のイベント内容（10月19日）

※イタリア人MCによる進行と日本人通訳によるイタリア語への逐次通訳にて解説

※以下の（ア）～（ウ）イベントはセットで3回実施。（エ）も前後して3回実施。

（ア）小野副知事による阿蘇地域世界農業遺産プレゼンテーション

- ・小野副知事が阿蘇の世界農業遺産の内容やミラノ万博に向けた地域の取組を、阿蘇の映像と合わせて英語でプレゼンテーション



（イ）宮本けんしんシェフによる料理ショー

- ・宮本シェフがイタリア語にて素材の素晴らしさを解説しながら料理ショー
- ・主に阿蘇産の飼料で放牧肥育したあか牛を使用した料理「草原の移り変わり」と、本年度廃校になる阿蘇市立坂梨小学校の生徒及びJA阿蘇青壮年部が栽培した阿蘇コシヒカリをリゾット、また、阿蘇の日本酒のゼリーで清らかな水の流れを表現し、阿蘇の原風景をイメージしたワンプレートにデコレートし、試食を提供。



(ウ) くまモン隊によるパフォーマンス

- ・くまモン体操及び記念撮影
- ・後ろのモニターに流す映像は、熊本県観光プロモーションDVD（県観光課作成）を活用



(エ) 「吉原岩戸神楽」(南小国町)の公演

ミラノ万博日本館イベント広場において、南小国町の「吉原岩戸神楽保存会(会長：佐藤 幸治)」による神楽の公演を披露(派遣人数10人)

○公演内容 「柴曳」「五穀舞」「八雲払」各1回

○公演の前に、阿蘇地域世界農業遺産推進協会 原山会長(JA阿蘇組合長)及び北里副会長(小国町長)から阿蘇地域の説明を行い、引き続き吉原岩戸神楽保存会から演目についての説明を行った。

<参考>吉原岩戸神楽とは

- ・明治27年に大分県竹田市より神楽を習い受け、吉原里楽連中が創設。その後吉原岩戸神楽保存会として伝統継承され、平成26年に120周年を迎えた。
- ・毎年、9月20日の吉原神社例大祭と、10月18日の小国両神社秋季例大祭に神楽を奉納。
- ・昭和35年県指定重要無形民俗文化財、昭和51年国選択無形民俗文化財指定。



(オ) 阿蘇地域の特産品試食試飲及びアンケート

- 阿蘇の特産品を試食試飲し、アンケートを実施
- 回答者に対して、モンバイザー（紙帽子）をプレゼント



(カ) 阿蘇地域の子も達が描いた阿蘇の農業風景画・伝えたい阿蘇の農業遺産資源・阿蘇の草原パネル等の展示

- 阿蘇の草原パネル等の写真については、一部、東海大学九州キャンパスからご提供いただいた。
- 阿蘇の農業風景画パネルについては、「世界農業遺産・阿蘇」の価値等を地域の住民の方に改めて認識していただく機会とするため、「未来に伝えたい阿蘇の農業風景画」を夏休み期間にて募集した。

○阿蘇郡市内の小中学校（小学校4年生～中学校3年生）を対象

○阿蘇郡市内の小中学校17校から計320点の応募があり、9月11日に審査会を実施

審査員 崇城大学芸術学部美術学科 教授 ^{くまがえ} 熊谷 ^{ありのぶ} 有展 他3名

○グランプリはA1パネル、準グランプリは2点併せてA1パネルで展示

○その他の選外の絵（17校が厳選した42作品）についても、スライドショーによりモニターで放映



(キ) 伝統工芸品の展示

熊本県伝統工芸館に展示監修をしていただき、イベントスペースへ工芸品を展示した。

○熊本・小国杉を使ったモダン 木の器

企画製作協力 阿蘇郡南小国町（有）穴井木材工場

○熊本・い草を使ったモダン 花ござテーブルマット

企画製作協力 宇城市 清香園

○熊本・天草南蛮てまり 熊本県伝統工芸館所蔵



(ク) DVDの上映

・イベント広場正面ステージの180インチモニターにおいて、阿蘇の世界農業遺産の概要と、ミラノ博への出展に併せて阿蘇地域で行う取組の様子を撮影したDVD等を上映した。



④日本館来館200万人達成イベントへの参加

10月19日の熊本県の日には日本館への来館者が200万人に達したため、同日、日本館による記念品贈呈、受賞者インタビュー、フォトセッションが行われた。

その中で、小野副知事及びくまモンからの記念品贈呈、熊本県関係者とのフォトセッションを行った。



3 世界農業遺産を足掛かりとした「ミラノ・熊本交流会」

- (1) 日 時：平成27年10月19日（月）午後9時15分～
- (2) 場 所：ミラノ市街「レストラン大阪」
- (3) 招待者：在ミラノジャーナリスト、バイヤー、星付レストランのシェフ、
在ミラノ総領事館首席領事、ミラノ万博日本館副館長 計12名
- (4) 本県からの参加者：副知事、県議会、阿蘇地域世界農業遺産推進協会、
熊本経済同友会等 計約40名
- (5) 内 容：日本館イベント広場でのプレゼンテーション報告及び交流
熊本県産食材を使用した日本料理及び宮本けんしんシェフによるイタ
リア料理や県産酒等の提供

